

I. 日時 平成28年3月15日(火) 14:00~16:00
場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

II. 出席者 濱谷副委員長、竹内委員、波多野委員、服部委員、城島委員、高木委員、橋本委員、島貫委員、友永委員、西村委員、足達委員、柴田委員、木村アドバイザー、山崎アドバイザー
(事務局:井端事務局長、竹苗職員、平田職員)

III. 検討事項

今回は、平成27年度大会開催結果について参加者アンケートを踏まえて確認し、28年度大会の開催方針とプログラム概要を検討した他、開催に向けて運営スケジュールを確認した。

1. 平成27年度大会について

参加者アンケートでは、初日全体会のテーマ設定は時機に適っているとの感想が多く寄せられ、アクティブ・ラーニングの講演・事例紹介も好評で、特に反転授業の取り組み事例は参考になったとの多くの意見があった。また、真の学力を育成するための教育改革、高大接続に関する講演も好評だった。なお、学生の主体性を引き出す新たな取り組みについては、前年度も紹介したこともあり、あまり反応が得られなかった。2日目テーマ別自由討議では、分科会A「地域社会での活躍を目指したアクティブ・ラーニングによる人材育成」は、話題提供がアクティブ・ラーニングに関する紹介が少なかったことや、大学個別の事例になりがちで、他大学の参考にはなりにくかったことが確認された。分科会B「学修行動のモニタリングと学修成果の可視化」、分科会C「教学マネジメント体制の確立への試み」は概ね好評であったが、2つの分科会の違いがないことの指摘があった。分科会D「価値を創出させるデータ活用力の教育モデル」は、モデルは興味ある内容ではあるものの、教育に導入するには難しいことや、初年次や学部教育との関係、各教育でどのように実践するのか意見交換したいとの感想があった。3日目の公募による事例発表は概ね好評で、2日目・3日目の大学・企業によるポスターセッションも概ね好評であったが、例年の通り会場が狭いとの意見があった。

来年度のテーマについては、アクティブ・ラーニングの評価の問題、シラバス、ポートフォリオ、ルーブリック、LMS等のシステムの統合、運用の具体例以外に組織的な取り組みへのプロセスや問題点・課題、成功例以外に失敗例を紹介してほしいとの意見があった。その他、2日目の情報交流会は参加費に比べて食事が粗末であったとの指摘があった。

その他、委員からは、2日目のテーマ別自由討議は1分科会の参加人数も多いこともあり、「討議」では重い印象があるとの意見があり、意見交流など名称の変更も検討すべきことを確認した。

(2) 平成28年度大会のプログラム方針

事務局案をもとに以下のようなプログラム案を検討したが、参加者アンケートにもあったように、アクティブ・ラーニングを実践する上で問題点や今後の解決策など、アクティブ・ラーニングの振り返り、自己点検評価を重視したプログラムとするべきとの委員からの意見があり、このような点を踏まえて事務局案を再度作成し直し、次回委員会で引き続き検討することにした。

① 初日:全体会

「大学教育改革の全学的な取り組み」として、横浜国立大学から教員の科目編成から学位プログラムへの転換について紹介いただく。「地域・社会との連携によるPBL導入教育」として、知識の活用を目指したアクティブ・ラーニング実践事例を1大学から紹介いただく。「アクティブ・ラーニングの評価」としてポートフォリオ、ルーブリック導入の事例を紹介いただく。アクティブ・ラーニング導入教育の振り返りとして、失敗例も含めて東海地域の1大学から紹介いただく。「知

識の創造を目指した新しい教育への取り組み」として、知識の創造、分野横断型教育の提案を昭和大学の片岡竜太氏より紹介いただく。最後に「大学における3ポリシー（入学選抜・教育・学位授与）法制度と高大接続改革」として、日本学術振興会理事長の安西祐一郎氏より講演いただく。

② 2日目：テーマ別自由討議

午前の1つ目は「アクティブ・ラーニングの各分野での取り組みと課題」として、人文・社会科学系、理工系、医療系などの分野から紹介する。2つ目は「アクティブ・ラーニングの自己点検・表価」をテーマとする。午後の1つ目は「情報教育、情報リテラシー教育、情報専門教育（情報系人材育成）」に関するテーマ、2つ目は「教育の振り返りのための環境整備（IRの導入の取り組みと課題）」をテーマとすることを案として確認し、再度検討する。

2. 運営スケジュールについて

平成28年度大会は、9月6日～8日に開催することを確認した上で、3月25日総会で3日目公募による事例発表の募集要項を配布し、4月中下旬、5月中下旬に委員会を開催しプログラムを確定、6月中旬に開催要項を発送することを確認した。

3. 次回委員会

次回委員会は、委員長の都合を伺った上で日程調整の上、開催日時を確定することにした。

以上